



### 嶋崎裕さんが「若人の賞」を受賞



▲金澤和夫・兵庫県副知事から嶋崎さん（左）に表彰楯が授与されました。

青少年活動やボランティア活動などに積極的に取り組む方をたたえる、兵庫県の「若人の賞」を嶋崎裕さん（27歳・鴨谷町）が受賞しました。9月29日に県民会館で、表彰式が行われました。

嶋崎さんは、「加西市ジュニアリーダークラブ」をはじめ市内の青少年団体で、豊富な経験と優れた指導力をもって、地域における野外活動の企画・運営に取り組むなど、青少年活動の振興に尽くされています。

### スポーツの秋を満喫「第45回加西市体育大会」



▲開会式で力強く選手宣誓をする片岡悠君（加西市剣道スポーツ少年団）

10月7日を中心に、市民の健やかな身体と豊かな心づくりをめざして「第45回加西市体育大会」が行われ、市内各会場で16種目に約2,500人が参加し、熱戦が繰り広げられました。

アラジンスタジアムで行われた開会式では、スポーツの振興に寄与し、全国大会等で優秀な成績を収められた方々に「体育協会スポーツ賞」などの表彰が行われました。各種目大会の結果は、7ページをご覧ください。

### 慣れない鎌で黄金色の稲刈り体験



▲鎌の使い方に苦戦しながらも、コツをつかむと次々に稲を刈り取り、あっという間に作業を終えました。

別府幼稚園の園児20人が10月17日、別府中町老人クラブの協力で稲刈りを体験しました。食の大切さを学んでもらおうと、園が企画しました。

稲は6月に園児らが植えたもので、鎌の使い方などを教わって黄金色の稲を刈り、稲をわらで束ねる作業をしました。

園児らは後日、脱穀やもみすりをして、おにぎりを作って食べるのを楽しみにしていました。

### 宝くじ助成で地域の山車を80年ぶりに再生



▲山車は地域の大切な伝統文化として、次世代へ継承されていきます。

富合北部まちづくり協議会（松末智行会長）は、別府町の大歳神社御鎮座1,100周年記念にあわせ、宝くじの収益を活用する「コミュニティ助成事業」で250万円の補助を受け、山車を修理し再生しました。

10月6日の秋祭りで曳き初め式が行われ、子どもたちがたたく太鼓の音を響かせながら、みんなで力を合わせて約80年ぶりに山車を曳いて回り、祭りを盛り上げました。

### 100年以上続く伝統の獅子舞



▲約7mのはしごを山形に組み、一段一段登りながら、太鼓や笛の音に合わせて華麗に舞う獅子舞「谷渡り」

市民俗文化財に指定されている綱引獅子舞が10月6・7日、綱引八幡神社で保存会により3年ぶりに奉納されました。獅子舞は13演目あり、地元小学生の踊りなども行われました。

クライマックスの「谷渡り」では、獅子舞がはしごを一段上るたびに会場が緊張感に包まれ、頂上に達し立ち上がると境内は拍手喝采がおり、観客を魅了しました。

### 外国人が思いを込めたスピーチを披露



▲ユーモアを交えたスピーチで会場を沸かせた、アフマッド シャンフディンさん（インドネシア）

国際交流の新たな取り組みの第一歩として、加西市国際交流協会主催の「外国人による日本語スピーチコンテスト」が9月30日、アステシアかさいで行われ、市内在住の4カ国9名が参加しました。

参加者は、日頃の日本語学習の成果を生かし、国内での体験談や感謝する人への手紙などを身振り手振りを交えた日本語で話し、観客を笑いの渦に誘ったり、感動を与えたりしました。

### 苦しくてもみんなのために「駅伝カーニバル」



▲最後の力を振り絞って、チームメートにタスキをつなぐ選手

10月14日、加西工業団地周辺コース（朝妻町）で少年少女駅伝カーニバルが行われ、市内の小学生約500人が参加しました。学年や男女ごとにチームをつくり、5人の仲間でタスキをつなぎました。

選手や保護者が「ラスト。頑張れ」と応援、アンカーがゴールした後、チームメートと抱き合って喜び、1人だけで走るのではなく、チームで走る楽しさ・苦しさを実感していました。

### 「緑のカーテンコンテスト」優秀作品が決定



▲今年で3年目となり、個人9件、団体14件の応募がありました。アサガオでリビングを覆った、最優秀賞の中根さんの作品。

加西市は、夏の節電・CO2削減・暑気対策として身近で取り組める「緑のカーテンコンテスト」を実施しました。最優秀賞などの皆さんは次のとおりです。

■個人 最優秀賞／中根章浩（西横田町） 優秀賞／西村陸朗（別府町）、市場照二（中野町） 特別賞／高橋肇（北条町西高室）

■団体 最優秀賞／富合小学校 優秀賞／オークタウン加西、中川テクノ株式会社 特別賞／JA兵庫みらい加西支店